



## 北へ向かって

### 東北新幹線レール発進式

夏の日差しが照りつける6月30日、一関市の前堀高架橋上で、東北新幹線レール発進式が行われた。同新幹線工事で、レールが敷かれたのは、小山総合試験線区を除いて一関工事区が初めてのこと。

6月末現在、県内区間101.4km（一関・盛岡間）のうち、契約延長率は98%、主体工事の進行率は70%に達している。

10月には北上市内からも、南へ向かってレール敷設を開始。来年3月ごろ水沢付近でドッキングし、一関・北上間約42kmの軌道工事が完成。北上・盛岡間のレール工事は55年8月ごろ完成の予定となっている。

また、ことし中には、一関・水沢間でモーターカーによる試験走行が始まり、県民の永年の念願であった東北新幹線も、55年度末には開通する運びとなった。